

さとしゅう

議会だより

No.98
2019.10.31



岡山県 里庄町議会



よっしゃ～1着!(里庄中学校)

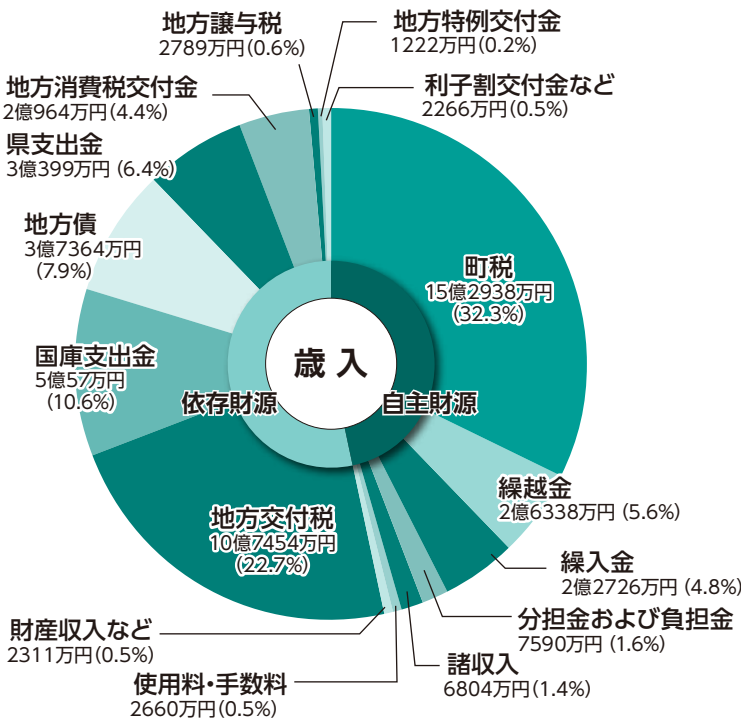
- 平成30年度 決算 (2)
- 令和元年度 一般会計補正予算(第3号) (6)
- 駅前の将来ビジョンは(質疑) (8)
- 町政を問う! (7人が登壇) (14)
- シリーズ “地域の子どもたち” (狭田子供会) (22)

定例会

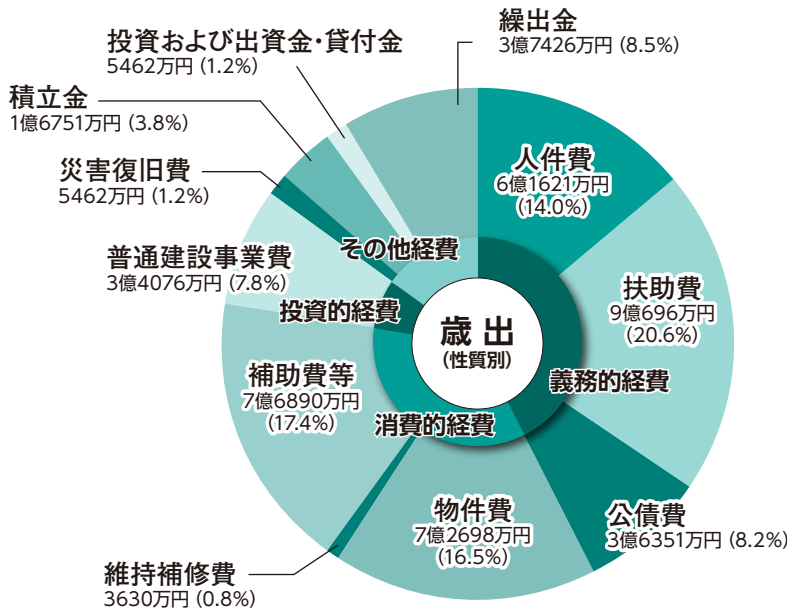
全会一致で承認

賛成多数で可決 **賛成5：反対4**

歳入総額 47億3882万円



歳出総額 44億1066万円



令和元年第5回定例会は9月4日から18日までの会期で行われました。議案は、専決処分の承認1件、条例の一部改正6件、令和元年度補正予算8件、平成30年度決算10件、工事請負契約の締結1件、人事案件1件が上程され、一般会計補正予算は最終日に修正案を提出し、修正案が可決。その他は原案通り可決・承認されました。また、報告3件がありました。

補正予算および平成30年度決算については、予算決算委員会に付託され、審査を行いました。なお、一般質問には7人が登壇し、町の姿勢や考えを問いただきました。

平成30年度普通会計決算

歳出44億1066万円

令和元年度一般会計補正予算は、修正案を

税金は次のように使われました

平成30年度決算

◎主な歳入 (総収入47億3956万円)

◆ 町税 (町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税)	15億2938万円
◆ 地方消費税交付金	2億964万円
◆ 地方交付税	10億7454万円
◆ 国庫支出金 (負担金、補助金、委託金)	5億57万円
◆ 県支出金 (負担金、補助金)	3億399万円
◆ 町債 (借入金)	3億7364万円

◎主な歳出 (5千万円以上の項目について)

◆ 財政調整基金積立 (貯金にまわした金額)	1億2534万円
◆ 町債償還金 (町の借金返済金)	3億6351万円
◆ 笠岡地区消防組合負担金	1億9401万円
◆ 廃棄物収集委託料	5796万円
◆ 介護給付費 (介護認定者に対する給付)	1億5272万円
◆ 訓練等給付費 (障がい者、介護認定者に対するもの)	7002万円
◆ 後期高齢者医療療養給付費負担金	1億228万円
◆ 小児医療費 (中学3年生までの助成)	5733万円
◆ 児童手当	1億9081万円
◆ 保育所給付費	3億3376万円
◆ 小中学校空調設備新設改修工事請負費	1億5915万円
◆ 公共下水道事業負担金	2億1091万円
◆ 公共下水道事業出資金	5462万円



元気に演技(かすみ保育園)

平成30年度 身近な主な事業内容

- ・各分館で敬老会を実施、老人クラブ活動支援
- ・交通安全対策としてガードレール・カーブミラー等設置
- ・新商品開発、販路開拓支援、まこもたけ生産者支援、圃場環境整備等の実施
- ・高齢者タクシー料金の助成券の交付(142件)
- ・放課後や長期休業中の学童保育事業
(東小学校2教室52人・西小学校3教室125人)
- ・保育園施設給付費事業(里見124人・かすみ233人)
- ・中学3年生までの医療費を負担
(0歳～15歳まで延べ1671人)
- ・障害児相談支援・児童発達支援・放課後等デイサービス費を負担
- ・各種検診(特定健診・後期高齢者健診・肝炎ウイルス検診・各種がん検診・胃がんABC検診(ピロリ菌検査)・30歳代健康診査等、健康相談117回・健康教育58回)
- ・予防接種(四種、二種混合・日本脳炎・インフルエンザ・小児用、成人用肺炎球菌等)
- ・不妊治療助成・未熟児養育医療の実施
- ・指定ごみ袋購入
- ・ごみステーション設置(新設2か所・修繕3か所)
- ・合併処理浄化槽設置の助成
(5人槽17基・7人槽9基)
- ・水路等改修(34件)・道路維持補修(27件)狭あい道路整備(14件)・道路改良工事(2路線)
- ・橋梁長寿命化修繕計画策定

- ・河川浚渫、維持補修工事等の実施
- ・自主防災組織の防災資機材整備補助(3分館)、自主防災組織の活動支援(7分館)

- ・公立学校施設空調設備工事の実施

学校名	新設(台)	更新(台)
中学校	25	29
東小学校	17	18
西小学校	17	19

- ・学校生活支援員の配置
中学校3人・東小8人・西小9人・東幼2人・西幼3人
(小中連携を含む)

- ・文化ホール事業の実施
(森山良子コンサート・夏休み子ども劇場)

- ・公共土木施設災害復旧工事(34件)



目指せ 100歳(津江分館)

町の借金と貯金(平成30年度の状況)

平成30年度起債額(借金)

5億6484万円

・一般会計

2億7364万円

・下水道事業会計

1億9120万円

一般会計の基金貯金総額

22億2549万円

財政調整基金

8億1151万円

いきいき里庄基金

1億円

地域振興基金

5853万円

開発基金

2億7726万円

減債基金

1億1197万円

ふるさと保全基金

6600万円

文化振興基金

4億2204万円

スポーツ振興基金

1億100万円

教育施設整備改修基金

1億1369万円

土地開発基金

1億302万円

環境整美基金

5039万円

古山基金

1008万円

平成30年度末起債残高※
69億6516万円

・一般会計

33億6547万円

・水道事業会計

6206万円

・下水道事業会計

35億3763万円

※元金償還金のうち、概算40・8億円が地方交付税に算入される見込み。

端数処理をしているため、合計額が一致しない場合がある。

平成30年度

決算

平成30年度決算の総括質疑は、2人が行いました。その後予算決算委員会に付託されました。

総括質疑

基金残高は

佐藤議員 ①一般会計の

- ① 基金残高と上下水道基金残高を加えた基金残高は。
- ② 起債に対する交付額は。
- ③ 起債から交付額を引いた純借金は。
- ④ 基金残高と純借金の比較は黒字か赤字か。
- ⑤ いつからマイナスになったのか。今後の対策は。
- ⑥ 基準財政収入額及び基準財政需要額、公債費充当一般財源並びに公債費負担比率、地方債残高と債務負債行為額は。

総務課長

①基金残高	26億8433万円
②起債残高 対する交付額	69億6515万円 40億8092万円
③純粋な借金額	28億8423万円
比較①-③=④マイナス	1億9989万円 赤字

⑤平成28年度の決算から。

数年の実績を踏まえ、基金については財源確保と事業費の抑制により、取り崩しを控えて運用が可能と考える。

起債については、令和2年度から下水道整備事業を半減と起債の抑制し、持続可能な行政運営に努める。

⑥ 基準財政収入額 13億6912万円
基準財政需要額 23億812万円

公債費負担比率 10・8%
地方債残高 33億6546万円
債務負債行為額 1億4042万円

財政運営の心構えは

仁科英議員 ① 経常一般財

- ① 経常一般財源収入はいくら。
- ② 嘱託職員の賃金は、経常収支比率に入っているのか。
- ③ 財政運営の心構えは。

総務課長 ① 29億322

- ② 経常収支比率に入っていない。
- ③ 抑制しながら

町長 財源のスリム化に努める。

人件費増大については、必要な職員は正規採用、臨時職員と柔軟な対応を考え、人件費の抑制に努める。



今日もがんばるぞ(大原西)

予算決算委員会報告

委員長報告

令和元年度

補正予算

9月11日から3日間にわたり、関係当局の出席を求めて説明を受け、慎重に審査を行いました。一般会計補正予算については、主に里庄駅前広場等整備事業について質疑や意見がありました。審査の結果、一般会計補正予算については賛成多数で可決すべきものと決しました。その他の特別会計補正予算・事業会計補正予算は全会一致で原案を可決すべきものと決しました。

平成30年度決算

9月11日から3日間にわたり、関係当局の出席を求め説明を聴取し、慎重な審査を行いました。文化ホールでの自主事業の収支の改善努力を、駅東西の駐車場の無人化はできないか、等の質疑や意見がありました。審査の結果、平成30年度里庄町一般会計決算の認定については、趣旨と目的に従って適正に執行されていた。よって全会一致で認定すべきものと決しました。

平成30年度 会計別決算状況

会計区分		歳入	歳出	差引
一般会計		47億3956万円	44億1280万円	3億2676万円
特別会計	国民健康保険	12億1059万円	11億7747万円	3312万円
	育英奨学資金給与	25万円	0万円	25万円
	介護老人保健施設	4475万円	3929万円	546万円
	介護保険	10億2320万円	10億979万円	1341万円
	後期高齢者医療	1億6398万円	1億6322万円	76万円
	町営墓地	374万円	259万円	115万円
公営企業会計		収入	支出	差引
水道事業	収益的	2億8225万円	2億4306万円	3919万円
	資本的	1719万円	1億1476万円	△9757万円
公共下水道事業	収益的	3億6447万円	2億9052万円	7395万円
	資本的	3億114万円	5億353万円	△2億239万円

修正案に賛成！

基本から練り直しが必要

仁科英麿議員

長期に大きな目で見たら、南北の通り抜け、橋上駅化、必要であれば北側に広場をつくる検討が必要である。

駅前の安全確保は本当に必要だが、一旦ストップして考え直しをしたらどうか。

執行部が中心になって案を出し、議員も町民も参加して議論して改めて基本から練り直していく必要がある。

修正案に賛成！

費用対効果を検討したか

高田卓司議員

補助金をもらわないで、もっとコンパクトにやる方法はないのか。そうすれば、町の持ち出しが1億円も要らない。

3月議会に修正動議があり、9月そのまま出してくるのはどういうことか。議会軽視も甚だしい。

費用対効果を検討したか。町にとって何が必要か。財政が厳しい時にもっと本気で考える必要がある。

駅前道路安全施策を遂行するために、全体設計の作成が必要で、そのための費用となる金額です。
 〈修正案〉
 同補正額、300万円を減額します。

駅前広場等整備
 300万円

一般会計補正予算

令和元年度

補正

令和元年度補正予算8件は、一般会計補正予算に、修正動議を提出。修正案が可決、その他は原案通り可決されました。

原案に賛成！

重要度の高い交通安全事業

仁科千鶴子議員

中央の駐車部分と駅西駐車場出入り口変更に伴う歩道確保等、追加の測量設計が必要であり、すべてが完成するための追加設計の300万円。

無人駅になってしまった時だからこそ、明るいきれいな活気ある里庄を・・・重要度の高い交通安全事業である。

里庄の将来のためにも測量設計を最後まで完了させるべき。

原案に賛成！

今やらねば、いつやる

小野光章議員

駅前は里庄の顔であり、今やらねばいつやる。駅前の町道安全施策に関し、300万円で追加設計を完成させ、総合的な工事設計を見極める有意義な判断。

事業費がいくらになる、国費はいくら等、検討するためにも調査、設計は続行すべき。全体設計を作成し、総合的なレイアウトを検討すべき。

修正案に賛成！

喜んで利用してもらえる展望がない

平野敏弘議員

3月議会で修正動議をした。反対したものをなぜまた上げてくるのか。

エレベーターをつけ、バリアフリー化してみんなに喜んで駅を利用してもらおう、乗る人が増えるような展望がない。

修正案に賛成！

絵に描いた餅だ

佐藤耕三議員

この計画を進めるより、例えば西側の駐車場を利用しながら、安全確保すべき。

高低差のある駅前をロータリーにすること自体に問題がある。

駅の昇降口の位置を考えれば、この計画どおりに利用者が、歩道を使うとは限らない。

実際には、絵に描いた餅ではないか。

里庄駅西踏切北の石橋部分の改修工事 4950万円

工事の際に臨時道路をつくり、通行の障害にならないようにします。本年度中に完工予定。

9月補正の結果

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計	45億9480万円	(1億1743万円)
国民健康保険特別	10億6229万円	(1994万円)
介護老人保健施設特別	4402万円	(1265万円)
介護保険特別	10億8267万円	(1629万円)
後期高齢者医療特別	1億6201万円	(△4万円)
町営墓地特別会計	426万円	(△26万円)
水道事業会計		
収益的収入	2億8640万円	(1万円)
収益的支出	2億7017万円	(△260万円)
資本的支出	1億1047万円	(57万円)
公共下水道事業会計		
収益的収入	3億6972万円	(△5万円)
収益的支出	3億4077万円	(△5万円)
資本的収入	3億1741万円	(1万円)
資本的支出	4億8018万円	(1万円)



改修される石橋(駅西踏切付近)

質疑

本当にする必要があるのか

高田議員

①3月議会で

修正動議を出し、否決した同じ部分をまた出している。議員の意見を無視して出してきたと思われるが、町長の考えは。

②総予算の概略は3億5000万円。実際の工事

費が3割、7割が用地と補償。こういう工事を本当にする必要があるのか。

③将来20年、年間500万円の負担となるが、どこから工面をするのか。

町長

①里庄町の将来にとって必要と考える。

県や公安と協議し、このような形で道路整備をすれば大変条件のいい交付金がもらえるので、財源のことも報告し、理解を得たいと考えた。

②通勤、通学、駅前で生かされている人の安全の確保が一番重要と考えている。

また、駅前整備をすることで、駅のバリアフリ

ー化にもつなげる環境を整える目的もある。

③起債事業は社会資本の整備、未来への投資。

地域振興のために交付されたいいき里庄基金を起債の償還に充てれば一度に基金は減ることなく、一般財源に与える影響は少ないと考える。

エレベーターがつく保証なし

平野議員

駅前を整備してもエレベーターがつく保証はない。

展望が見えないところへ1億円入れてどうするか。

町長

駅がなくならない限り利用者はある。交通事故も起きている

ので安全が第1の目的。あわせて駅前をバリアフ

リー化し、駅構内のバリアフリー化につなげていく考え。

現に、2600人の通勤・通学者がいて、それ以外にも駅前の道路を使う人がいる以上、生活道路としての整備は必要と考える。いろいろな可能性を秘めた道路整備なので、ぜひ理解を得たい。

駅前将来ビジョンは

仁科英議員 ① 300万を

認めた後の計画の手順は

どうなるのか。

町民は納得しているの

か。

② 駅前の将来ビジョンを
どう考えるか。

③ 利用促進のために駐車
場などの環境整備も必要
と考えるが、どうか。

④ これを整備し、その後
の展開に支障がないか。

町長 ② 駅の環境整備

にはかなり制約がかかる。

現実的に今やるべきこと

は、駅前の道路整備とあ

わせてバリアフリー化に

つなげていくことが必要

最小限と考えている。

最終形は測量設計がで

きないと全体のビジョン

は見えてこない。

③ その考えはあると思う。

④ 全く支障がないかわか

らないが、現状を改善し、

将来へつなげるステップ
には十分なり得ると思う。

農林建設課長 ① ロータ

リー内の駐車場と西側に

つながる歩道の部分の測

量設計費用が300万円。

そして、全体の額を確定

できればと考えている。

令和3年に翌年度の国

費の交付金を要望し、整

備は、令和4年から7年

ぐらいになる。

それぞれの年度で用地

の算定と物件移転補償費

の算定の予算が必要にな

ると思う。

最終形を見ていない段

階なので、説明さえまだ

できていない状況。

補助金に頼らない公民連携を

岡村議員 ① 大きなビジ

ョンを持ち、補助金に頼

らないで公民連携を考え

ながらしていくべきでは

ないのか。

② 平成27年、28年に駅前

広場の話が出たが、駅前

分館の一部の人・箇所の

整備では物足らないと思

うが答弁を。

町長 ① 財源や駅の周

辺に遊休地があれば十分

考えられると思う。里庄

駅南側の利用できる土地

は、限られていて、官民

連携の広大な開発計画は、

里庄町では難しいと考

えている。

農林建設課長 ② 交付金

をもらうために、県や期

成会と相談をしてきた。

西の踏切に向かう沿線

を含め、今後は計画で動

かせるところは一緒に考

えていく事になると思う。

人事

教育委員会委員

里庄町大字新庄

藤井 幸治氏

質疑

資格要件は

仁科英議員 教育委員も一

定の資格要件はあるのか。

全体として構成の制限は

あるのか。

教育長 基本的には国の

法律の中で教育委員数や

構成メンバーがうたわれ

ている。

いろいろな立場や、職

種の人、また学区が偏ら

ないよう総合的に考えて

お願いをしている。



現状の駅前

町条例

一部改正

里庄町税条例

① 個人町民税の非課税措置の対象に、単身児童扶養者が追加されます。

令和3年度以降の個人町民税から適用となります。

② 軽自動車税環境性能割に係る非課税の規定や、低税率と偽るなど不正行為を行った者に対する手続き・加算金の規定を追加するものです。

③ 軽自動車税のグリーン化特例が、令和3年度課税まで、2年間延長となります。

なお、電気自動車については、令和5年3月までに購入した場合まで特例措置を受けることとなります。

里庄町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

特定教育・保育施設における、食事の提供に要する費用を、当該施設が直接保護者から徴収出来るようになります。

里庄町印鑑の登録及び証明に関する条例

印鑑登録時及び印鑑証明書請求時に、旧姓の記載を求める事が出来るようになります。

特別職の職員の給与に関する条例

1月に発生した、支援措置申請者の戸籍の附票を、誤交付した事件に対し、管理監督責任があるとして、町長自らが給料の減額を申し出たもの。
令和10月1日から令和2年2月29日までの5カ月間、月額15%減額。
(52万5千円の減額)

里庄町水道事業給水条例

給水装置工事事業者の指定有効期間が定められ、5年毎の更新が義務付けられます。
登録更新手数料は1件につき1万円を定めます。

災害弔慰金の支給等に関する条例

① 町が償還金の支払い猶予や償還猶予するか否かを判断するにあたり、災害援護資金の貸し付けを受けた者等の、収入・資産の状況について報告を求めることができることとなります。

② 町が災害弔慰金を支給するにあたり、自然災害による死亡又は重度の障害を受けた者であるかどうかの判断が困難な場合は、医師・弁護士等の有識者による審査会を設置し、審査会における判断で判定します。

里庄町職員定数条例

業務量の増加、職務内容の多様化に対応するため、および年齢階層区分の職員数に偏りが生じているのを是正する目的で、86名を91名に5名増員するものです。



万一に備えて操法訓練

質疑

5人で5人不足しているか

仁科英麿議員 ①平成26年里

見川荘を指定管理者にして2人、その後教育委員会制度が変わり教育委員会でも1人浮き、実質3人増になっているが、増員の理由は、今ここで5人不足していて、いつ採用するのか。

②生涯賃金は5人で1億円。この財源は。

③臨時の業務や欠員に対しての対応は。

総務課長 ①健康福祉課

では平成29年度、包括支援センターの業務、30年度には居宅介護支援事業が増えた。令和2年度からは子育て世代包括支援センター、子ども家庭総合支援拠点も設置しなければならぬ。

町民課、総務課ではマイナンバーに関する業務

などが増える。

②通常は一般財源から捻出すると思うが、今後新しい事業のものは国の補助金も考えていきたい。

③法改正により統一的な基準に基づき正規職員以外の人を採用する仕組みが来年の4月から始まる。議会に報告しながら条例を進めていきたい。

町長 ①業務量がマンパワーを上回っているのが実態と感じている。

年齢枠など十分勘案しながら必要とされる職種に募集をかけている。

5人一度に新採用することは考えていない。専門性を求められる職種や足りないところは財政も考えながら計画的に採用していきたい。

大量退職者が出るまでに定数増の考えは

高田議員

今回5人定員を増やすが40代以上の職員が非常に多い。大量に退職する人が出るまでに、一時的に職員定数を増やす考えは。

町長 今後、業務量も見ながら、段階的に定数の条例もお願いしなければ

ばならない状況になるかもしれないが、一時的にものごく財政が膨らむので、ある程度計画的に考えていく。

業務がきちっとできて、将来につながるように、しっかりと考えていきたい。

ここが賛成！ 楽しい職場づくりを

平野敏弘議員

今役場の中は仕事が非常に増えている。一人でもいいから増やして、職員みんなが助け合って、町民のために仕事をし、楽しい職場づくりをしてもらいたい。

優秀な人を入れてもらいたい。

ここが賛成！ 優秀な人の採用を

高田卓司議員

勤務状態を見ると、非常に苛酷な仕事をしてる。過重労働になって体調を壊す職員もいる。職員は採用しても1年や2年では十分仕事はできない。今から優秀な人の採用をし、10年、15年先に備えるべき。

ここが反対！ 大盤振る舞いの改正

仁科英麿議員

権限を町長に与える、大盤振る舞いの改正。

町民の立場、里庄町の財政その他、考えてみた場合に認められない。

補充が必要という説明が明確にされていない。



トリック オア トリート

井笠地区農業共済組合解散に伴う決算認定

専決処分

質疑

一般会計補正予算
減額28万円

本年3月末日に解散した同組合の決算について、各市町村の議会の承認が必要のため上程されました。

各自治体の負担金で、里庄町には、360万円程度返還される予定です。

7月臨時会で承認された、戸籍附票の誤交付に関して、事前支払い額が二重に計上され、損害賠償額に誤りがあり、額の変更がされました。

二重計上、なぜ起きた

仁科英議員 ①なぜ二重計上起きたのか、丁寧な説明と対策は、今後どうするのか。
②もう一度チェックしないと印鑑が押せないという仕組みにはどうか。

町民課長 ①パソコンの表計算ソフトを使用して合計額を出したが、計算設定の間違いで28万6741円を2回足してしまった。
パソコンの機能等を信

頼するだけではなく、そういうこともあるんだというのを認識しながらチェックをすることが必要。再発防止に向けて十分に取組んで行きたいと考えている。

町長 ②チェック体制をさらに強化をしたい。
総務課、出納室のチェック体制をさらに強化をした。
をさらに厳重にし、このようないくらも起こらないように十分気をつけていく。

批判的な意見は

佐藤議員 一日学校公開のアンケート結果は、良い意見が並んでいるが、批判的な意見はなかったのか。

教委事務局長 教育委員会で最終的にまとめたもので悪い意見等が入っているという認識はなかった。



めざせゴール(かすみ保育園)

平成30年度教育委員会事務の点検及び評価に関する報告

賛否表

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

議案名	議員名									議決結果	
		平野敏弘	高田卓司	岡村咲津紀	小野光三	仁科英麿	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三		藤井典幸
議案第43号	専決処分の承認を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第44号	里庄町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第45号	里庄町職員定数条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
議案第46号	里庄町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第47号	里庄町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第48号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第49号	里庄町水道事業給水条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第50号	令和元年度里庄町一般会計補正予算(第3号) 修正案	○	○	○	×	○	×	×	○	×	修正可決
	修正部分を除く原案	○	○	○	×	○	×	×	○	×	
議案第51号	令和元年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第52号	令和元年度里庄町介護老人保健施設特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第53号	令和元年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第54号	令和元年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第55号	令和元年度里庄町営墓地特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第56号	令和元年度里庄町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第57号	令和元年度里庄町公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第58号	平成30年度里庄町一般会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第59号	平成30年度里庄町国民健康保険特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第60号	平成30年度里庄町介護老人保健施設特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第61号	平成30年度里庄町育英奨学資金給与特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第62号	平成30年度里庄町介護保険特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第63号	平成30年度里庄町後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第64号	平成30年度里庄町営墓地特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第65号	平成30年度里庄町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第66号	平成30年度里庄町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第67号	平成30年度井笠地区農業共済事務組合農業共済事業会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第68号	工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第69号	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第70号	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

(注)議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

7人の議員が登壇して質問!

藤井 典幸 議員.....15P

- ① 消防団の装備
- ② 低料金町内循環バスの早期実現に向けて

岡村 咲津紀 議員.....16P

- ① 駅前広場整備事業
- ② 和解および損害賠償

高田 卓司 議員.....17P

- ① 里庄～寄島線のバス運行
- ② 今後の里庄町の財政安定化に対する考え方

平野 敏弘 議員.....18P

- ① ため池の管理
- ② 町職員の勤務状況
- ③ 町民運動会
- ④ 職員採用
- ⑤ 役場の喫煙場所

佐藤 耕三 議員.....19P

- ① 島根原発再稼働と原発事故時の避難者受け入れの体制
- ② 安全サポート車の購入補助制度

仁科 英麿 議員.....20P

- ① 町の行政に関することも、町で行っている「弁護士による無料法律相談」の対象にすべきではないかということ
- ② 地籍調査のあり方

仁科 千鶴子 議員.....21P

- ① 川の浚渫はいつになるか
- ② 里庄には管理栄養士は必要ないのか

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

9月定例会

一般質問

町政を問う

藤井 典幸 議員



消防団員の装備は安全か

町長／できるだけ早く整備していきたい

問

消防団員の安全装備について、日ごろから町の安全・安心のため頑張っている消防団の協力なくして町民の安全・安心は成り立たない。

2014年に、消防庁から消防団の装備の基準が示されている。

そのなかの第3条に、「消防団は、全部の消防団員の数に相当する数のヘルメット、救助用安全靴、防じんメガネ、防じんマスク、耐切削性手袋、救命胴衣及びカッパを配備するものとする」

第3条の2には「ヘルメット、救助用安全靴及びカッパは、全部の消防団員に支給し、又は貸与するもの」と明記されている。

現在の消防団員数と国の基準を満たしていない装備品は。

総務課長

消防団員数268人。現在の配布状況は、ヘルメット1

86個、救助用安全靴22足、カッパ50着。

防じんメガネ、防じんマスク、耐切削性手袋、救命胴衣は配備がされていない。

問

消防団に現在配付している物品のほとんどが、支給してから10年以上たっている。ヘルメットは耐用年数5年を大幅に超えており、耐用年数を過ぎたヘルメットでは、使用者の命は守れない。

今年度から消防団員にカッパの配布が始まっているが、予算の関係で年間40着しか配布できない。すべての団員にカッパを配布するのに6年もかかる。

今までのように「あれば良い、あるから良い」ではなく、耐用年数も考えながら計画的に装備の更新が必要。

消防団員も町民であり、家庭がある。町民の安全・安心のため災害現場に

出ていき無事に帰ってくるのが家族にとっての安心である。

町の安全・安心のために、ケガをしたり死んでしまったのでは本末転倒ではないか。

装備品を早期に充実させることが、団員の安全ではないか。

団員の安全を守ることが急務である。

里庄町や町民の安全を守るために頑張っている消防団員の安全を、お金がないので後回しでよいと考えているのか。

今後、消防団の装備品をいつまでに、どのよう

町長

消防団員の方に、は、住民の生命財産を守るために災害現場、火災現場で、精神的に活躍いただいて本当に心から感謝している。

消防団員の安全を確保するためできるだけ早く安全装備は整備していきたい。

循環バス運行には協議会が必要

町長／協議会の設置は難しい

問

6月議会後も町民の多くから、「できるだけ早く町内循環バスの運行を実現させてほしい」と意見を聞いているので再度質問する。

低料金町内循環バスの運行しようとする、最低でも数年はかかる事業。いつでも始められるよう準備することからも協議会の立ち上げは必ず必要だ。

研究会や協議会を立ち上げる事が町民の期待と

考える。

一歩踏み出し、町民のため前向きに考えると言え、意思表示を聞きたい。

町長

循環バス、デマンドタクシーなどについては、他の自治体の状況も見ながら研究する。

現状では、研究会や協議会を立ち上げることは難しい。検討する時間が



林野火災訓練

駅前の坪単価はいくらか

農林建設課長／正式に算定はしていない



岡村咲津紀 議員

問

駅前広場整備事業は、概算で総額3億5000万円ほどの費用を投じなければならぬ。財政が豊かでないときに大きな投資をして大丈夫なのか。

随分前から町民はエレベーターの設置を要望している。町は、なぜ町民の声に耳を傾けないのか。朝夕のラッシュ時間を除けば、駅前是非常に閑散としており、最近はタクシーすら待機していない。子どもや通勤者の安全は、駅前を整備しなければ安全が確保できないのか。

町長は、駅前に住んでいる人が将来を考え、家を建てかえたいと言ったと説明があった。この人の要望を取り入れ、早急に進めたいのでは。多くの町民の声に耳を傾ける余裕がなぜ、町長にはないのか。

町長

概算で用地補償、建物等の補償が2億5000万円、工事関係が1億円、測量や家屋調査の委託料が700万円となっている。総事業費の半分以上が用地の調査や、立ち退き費用である。駅前の坪単価をどれぐらいで見積もっているのか

駅前広場のエレベーター設置等をJRや関係機関に働きかけていきたい。第2段階は、駅構内のエレベーターの設置であり、JRが事業主体となつて進める駅のバリアフリー化事業は、JRが実施主体となるとJR、国、そして地元自治体が3分の1ずつ費用を負担する。現時点でエレベーター等の設置や、バリアフリー化事業を進めれば、全額町が費用を負担しなければならぬ。

町は、まず駅前の安全性の確保やバリアフリー化を進めた上で、次に駅構内のバリアフリー化へつなげていくことができる環境を整えていきたい。

農林建設課長

駅前買収の坪単価は、正式に算定していない。地価公示が、今の段階ではしていない。

まだ面積が確定していない、どの範囲をコントロールして、この範囲におさめたいというのがあるが、どういう形になったか、どういう形になるか、どの面積になるかというのがわからない段階で想定をした概算である。

問

住民票の附票誤送付で和解、損害賠償が成立し、町が536万2550円の賠償を示談交渉し、全員協議会で示談、和解の詳細の報告を受けた。示談交渉はどのように行われたのか。

今回は、総合賠償補償保険(個人情報漏えい保険)の適用で約9割が保険金で賄われ、町長が5

カ月間15%の給料カットで補うという。今後、事故が発生した場合、町長が責任をとるのか。

町民

3月に住民基本台帳で支援措置申し出者に係る戸籍の附票を誤って交付し発覚した。この件は気の緩みと、緊張感が欠ける中、確認作業がおろそかになったと考えている。

被害者は町外に住んでおり、電話やメールで窓口担当の女性と私で伺い内容について説明をし、意見を聞くことを数回繰り返し行い、最終的な和解の署名のときは、町長と顧問弁護士と私、3人で伺い、相手は被害者の女性と家族の男性が同席していた。

町長

再発防止に向け、一丸となって取り組みたい。担当課、また担当職員は、懲戒処分等の処分をした。

住民票の附票誤送付

町民課長／気の緩み緊張感に欠けた

高田 卓司 議員



里庄寄島線のバス運行を見直しては

町長／今後も続けていく

問

里庄寄島線のバスは現在行政によって運行している。財政の厳しい現在、見直してどうかと思うが、費用と利用人数は。

企画商工課 長

平成30年度は一日当たり40・9人、一便当たり平均2・9人。

費用は里庄が156万円負担し、浅口市と共同運行している。

問

朝、夕の便数と町内の利用人数、個人負担はいくらか。

企画商工課 長

朝7便、夕7便計14便運行。

最近の調査はないが、5年ほど前の調査では、6人ほど利用していた。4人は勤めの人、2人は高齢者の利用。運賃は8区間までが100円、それ以上は200円、小・中・高校生は一律100円としている。

問

町財政が非常に厳しい現状において、数人のために150万円の費用を使うのは考えるべきではないか。今後、路線の継続を見直す必要はないか。

町長

浅口市と里庄町が協議をし始めた事業であり、公共交通機関として維持していくべきと考える。

企業誘致に元の運動公園予定地を利用しては

町長／難しい問題がある

問

町財政は長年の赤字体質により、非常に厳しい状況にあり、基金（預金）を取り崩し補ってきた。結果、基金も底をついてきており、今後根本的な考え方を変えなければ財政破綻も現実のものとなる。

問

町財政は長年の赤字体質により、発展的な行政運営が必要と言っているが、現実とは違っている。町長の考えを尋ねる。

町長

事業を進める中で、目的があるから基金を取り崩してきた。基金は減ったが社会資本は整備できている。財政破綻というのは何を基準に言っているかわからない。借金は交付税として返

問

交付金として返ってくるので健全性は保たれている。

問

交付金として返ってくるというけれど100%は返ってこない。町の持ち出し分は残っている。基金が5億円を切ったら財政破綻と見なされる。

町長

基本的な考えは言われる通り。議員提案の場所は、アクセス、それに伴うインフラの整備、水道、下水道、電気など、そして住民生活への影響などを考えると難しい、困難な部分があると思う。



里庄寄島線のバス

ため池の改修は

農林建設課参事／総合的に判断し進める

問

町内に管理が必要なため池と、改修が必要なため池はいくつあるのか。

分館長会議で必要でない池は樋を抜き水を干し、防火用水等に必要ない池は残すと説明を受けた。

最近、米を作る人も少なくなり、水を余り必要しない池もある。水量を調整し、満水にならない対策をしたかどうか。

地元の、池係の連絡体制や池の利用状況などの情報交換は実施しているのか。

問

上司が休みをとらないので職場内で休みをとりにくい。若い職員が気を使わず休暇が取れる制度を取り

入れたらどうか。役場は不夜城のごとく、深夜2時ごろまで明かりがついている。改善策はあるのか。



平野 敏弘 議員

改修を必要とするため池は84カ所で、貯水の有無にかかわらず管理の必要がある。改修計画は総合的に判断し進めていく。分館長会議で豪雨の前や台風の前、また利用がない池は、水位を下げるようにお願ひした。

現在調査をしております結果に基づき、地元水利委員さんと利用状況の情報交換を適宜行い対応していく。

休暇が取れる制度を

総務課長／今の職員体制では難しい

問

上司が休みをとらないので職場内で休みをとりにくい。

役場は不夜城のごとく、深夜2時ごろまで明かりがついている。

総務課長

今の職員体制ではなかなか現実が伴わず、職員の負担が増え、難しい。

現在の職員数で対応することは非常に困難。

業務改善や工夫をして業務に当たる。

町長

職員が深夜遅くまで仕事をしているのは、承知をしている。職員の健康管理の上からも、好ましい状況ではない。

準備や運営を町民に

教委事務局長／今後検討する

問

町民大会の準備や運営は、役場の職員や各種団体の関係者だけではなく、希望すれば一般の町民も参加して仕組みをつくることをしてはどうか。

教委事務局長

町民の人々から、準備や運営に協力をいただけることは、町民全体で大会を盛り上げることにつながる、次年度の大会に向け、具体的な方法を検討していきたい。

その他の質問

Q職員採用は

A見極めながら採用していく

Q喫煙場所の設置は

A喫煙場所は設けない

農林建設課参事

ため池台帳に88カ所が記載してあり、うち防災重点のため池が45カ所である。

佐藤 耕三 議員



島根原発再稼働、廃炉の要請は

副町長／要請する考えはない

問

① 島根県は、中国電力島根原発の事故を想定し、原子力災害時に備えた島根県広域避難計画を公表している。

里庄町でも松江市内から約700人を受け入れる計画だが、作成に当たり、いつどのような調整を行ったのか。

また700人の園児、生徒、医療機関の入院者等それぞれ何人か。

② 避難に関する手順などのような検討をし、マニュアルを定めたのか。

平時から要員の研修、訓練の実施等が必要とされているが、避難者受け入れの訓練の実績や今後の計画は。

③ 島根原発の事故で里庄町も安全ではないと考えらるかどうか。

④ 中国電力や国に対し、島根原発再稼働、廃炉を要請するつもりはないか。

副町長

① 平成24年8月に松江市から避

難する地区、人数の打診があった。島根県、岡山県、松江市、里庄町の4者で協議を行い、24年10月に書面による照会を受け、受け入れおよび広域避難計画について了承した。

700人の内訳は分からない。

② 現時点では、地域防災計画に基づく対応を実施する予定で個別の検討、マニュアル等は定めていない。

また、島根原発の事故のみを対象とした備蓄は検討していない。岡山県災害時相互応援連絡協議会が定めている目標備蓄量の保有を旨指して段階的に数量をふやしているところ。

避難者受け入れの訓練の計画予定はない。

③ 原子力災害において緊急防護措置を準備する区域がおおむね30キロ圏内とされているため、直接的な影響はないものと考えている。

飲料水、魚介類の安全については、明確にはわからない。

④ 要請するつもりはない。

安全サポート車の

購入の助成制度を

町長／貴重な意見として賜りたい

問

① 自動ブレーキシステム等の安全サポート機能があれば、事故を防ぐことや被害を小さくすることは可能では。

全国的に市町村レベルで、香川県では県レベルで制度の導入が進んでいる。

里庄町でも安全サポート車の購入の助成制度を



避難訓練

② 75歳以上の高齢者にタクシー券を配付している。助成してもらえらるなら先進の車を買おうとなればタクシー券を配付する必要はない。前向きに検討してもらいたい。

③ 国では安全運転サポート車の購入の助成制度を一層の普及を進めている。

企画商工課長

① 国では安全運転サポート車の購入の助成制度を一層の普及を進めている。

県でも平成30年度からセーフティドライブ推進事業を進めている。町としては、国や県の取り組みを町民に周知し、必要性を感じてもらい安全運転サポート車を取得してもらえればと思う。

現時点で購入補助制度の創設は考えていない。

町長

② 貴重な意見として賜りたいと考えている。

町の行政に関することも 弁護士による無料法律相談の 対象にすべき

企画商工課長／引き続き扱えないことにしたい



仁科 英磨 議員

問

①町の行政に関することも、町で行っている弁護士による無料法律相談の対象にすべきではないか。

始めから対象にしない、排除する、は適切でない。町民の悩みは堂々と受けて立つのが町民に優しい町政のあり方だ。

②町の職員と意見が合わないので弁護士に聞きたい、という場合のことだ。弁護士規定28条には、但し書きがある。どう書いているか。

③井原と矢掛はいいと言っているのなら、はつきりそう言うべき。規程も前半だけ読み、但し書きは隠したが、「ただし、依頼者及び相手方

が同意した場合、この限りではない。」とはつきり書かれている。

どうか。

④相談に来る人と町がいと言えはできることだ。里庄町は町民に冷たいことがよく分かった。

他の弁護士にすることは、検討したか。

⑤行政相談員の行政相談や人権擁護委員の悩みごと相談ではない。法的な解決を探るためだ。

どうしてだめなのか、町長に聞く。

ているとのこと。

弁護士職務規定により、町の行政に関する相談は受けることができない。

町への直接相談、行政相談等を利用されたい。

②手元にないので、読めない。

③質問内容を弁護士に詳しく伝えることはしてないし、同意する事態まで町はかかわっていない。

引き続き扱えないことにしたい。

④考えていない。

町長

⑤住民からの相談や質問、批判等には、顧問弁護士に相談しながら、本当にそれが正しければ従うように対応している。

企画商工課長

①笠岡市、浅口市とも、当町と同様の対応。井原市、矢掛町は、岡山弁護士会からの派遣弁護士が実施し

周囲が確認できる部分の分筆は 地籍調査の中でも認めるべき

国土調査室長／認めるのは相当でない

問

①境界の一部が確認できない土地でも、分筆したい部分は周囲全体が全て確認できる場合は、地籍調査の中でも分筆を認めるべきではないか。

②それは、どこに書かれているのか。国の指導か。これは自治事務であり、地方が判断することだ。

また、公共事業のときは、広大地等の特例ということでやっている。

③法律その他に違反しなければ、現場で一番いいように取り扱えばよい。

指導がおかしいなら、直してもらう必要がある。

④現場重視で考えるべき。町長の考えは。

⑤地籍調査の進捗率は、事業完了までにあと何年かかるか。

⑥筆界未定は、何件か。そのうち町有地はどれだけか。道路関係は。

筆界未定は、今後どのように解消するのか。

⑦地籍調査は、市町村が公図等を探りながら、も

ともとの権利関係を復元すること。

町が、一つでも多く解決するよう努力すべき。

①残地の筆が特室長 定されない限り、土地を分筆したことにならないため、分筆があったとするのは相当でないとされている。

国の制度が変わらない限り、今後の変更もない。

②国土調査法に基づき、県の指導も受けながら、そのように対応している。

③町独自の調査事業ではない。あくまで法に基づいて行うということ。

④29年度までで78・25%。現地調査にあと3年。

⑤筆界未定は68件。うち町有地34件、道路29件。調査完了後それぞれで解消に努める形になる。

副町長

④室長答弁のとおり。

町長

⑦町はできるところとはしている。

仁科千鶴子 議員



川の浚渫は

農林建設課長／今年度中に対応する

問

平成30年7月豪雨災害から1年

が経った。業者が足りなくて作業が進まないと言明があり、3月の定例会で繰越明許費となった。

① 今現在、復旧の状況は。② 今年度中、すべて完了するのか。

③ 8月15日台風上陸の被害状況は。

④ 川の浚渫の要望は、各分館から出ているのか。

⑤ 2級河川は県の管理、他準用河川はすべて町の管理なのか。

⑥ 川と違っていたが、水路となると地区の管理という考えか。

⑦ 費用はどのくらいかかるのか。

農林建設課長

① 農林水産施設

な箇所39カ所のうち、30カ所が工事完了。公共土木施設災害復旧が必要な箇所、74カ所のうち70カ所工事完了。

② 奥迫池の災害復旧工事で一部水漏れの箇所が見

つかった。今調査し、県と国と協議しているが、工法が変われば金額も期間も変わる。あとは、全部今の予算内で完了する予定。

③ 町道の林道に倒木があったが、ほとんど被害はない。

④ 妙見川、池田排水、中川、井溝川の浚渫要望が出ている。今年度中に対応する。

⑤ 2級河川は県が管理、準用河川は中川という水路500メートル。川という名前だが、すべて大きな水路という扱い。

別に、砂防河川があり、構造物は県管理、周りは町管理、堆積物は町・地元管理となる。

⑥ 地元でいくらか管理していく必要がある。

大きな水路は、要望を出してもらい、現地確認し対応する。

⑦ 50mで重機・処分費用で160万、整地で済むと重機を含まず2万5000円ぐらい。

管理栄養士は必要なのか

町長／直ちに配置する考えはない

問

体と心の健康を維持するために、食事は大変重要である。

① 健康づくり事業は何をしているか。

② 理学療法士は健康づくりとどういう立ち位置か。

③ 生活習慣病対策を効果的に進める上でも管理栄養士の役割は大きい。管理栄養士がいらないのは、岡山県内では2町だけ。

臨時で雇っているが、里庄には必要がないのか。

健康福祉課長

① 特定検診等検

診内容の充実を図っている。同時に食生活指導・講演会を行っている。保健指導や健康教育を実施。健康祭りやウォーキング大会を実施している。

② 生活習慣病のリスクが

ある人を対象に健康体操を実施。介護予防の上で役割は重要である。各分館に出向き百歳体操を実施している。機能訓練・リハビリ事業も行っている。

③ 事業内容や事業回数を踏まえて必要に応じて臨

時でお願いしている。平成30年度は30回程度お願いした。

食生活指導の内容や回数を踏まえて、今後もできると考えている。

町長

④ 事業の内容から見ると、必要な時に臨時の人をお願いして、十分推進できている。現時点で直ちに管理栄養士を配置する考えはない。



親子でなかよく！

これからも仲良く・楽しく・
元気に

狭田子供会

狭田子供会は、幼稚園児から小学六年生までを対象として、現在二世帯二名の少ない人数で仲良く活動しています。

登下校では、人数が少ないため、安広地区の登校班と一緒に、地域の方に同行していただきながら、毎日安全に登下校しています。

夏休みには、ラジオ体操を行い、少人数のため狭田・安広・宮地の三地区合同でプチ旅行に行つて親睦を深めています。地域の方々には、子ども一〇番の設置や安全パトロールにご協力していただき安全に登下校ができています。

資源回収にもご協力していただき、心より感謝しております。

これからも、仲良く・

楽しく・元気に活動してまいりますので、子ども達の成長と一緒に温かく見守ってくださいませよう、よろしくお願いいたします。



《第98号》

令和元年10月31日 発行

発行／岡山県 里庄町議会

〒719-0398

岡山県浅口郡里庄町

TEL(0865)64-7217

FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.lg.jp

●おしごとがき

「リーン・リーン・」耳を澄ませば虫の声。爽やかな秋の訪れを感じながら、夜空を見上げることが多くなりました。春夏秋冬の中でも過ごしやすく、美味しい食べ物やこの季節にしか見られない町並みの色や空気を感ずることが出来ます。

一緒に里庄散策しませんか。

(仁科千)



編集委員

委員長：小野光章 副委員長：藤井典幸 委員：仁科千鶴子 委員：佐藤耕三

令和元年第6回定例会は、12月9日(月)から始まる予定です。